

マリゼブ®錠は 週に1回1錠 服用して 糖尿病を治療するお薬です

12.5 mg



25 mg



※パッケージ裏面のシールをカレンダーや手帳に貼り、のみ間違いを防ぎましょう。

服用方法

週に1回1錠 服用します。

服用する曜日を決めましょう。

食事に関係なく服用できます。定期的な服用日時をあらかじめ設定しましょう。

Q. 誤って多く服用して
しまったら？

A. 医師・薬剤師に、
ご相談ください。

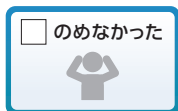
Q. 服用し忘れてしまったら？

A. 気づいた時点で1錠服用し、その後は
あらかじめ定められた曜日に服用して
ください。ただし、同じ日に2錠服用
しないでください。

血糖値が良好な場合も自己判断で服用を中止せず、医師の指示に従い服用してください。
気になる症状があらわれた場合は、すぐに医師・薬剤師に相談してください。

服用時の注意については裏面をご覧ください。➔

Q1. マリゼブ®を1週間に1回のみましたか？



Q2. マリゼブ®の服用に満足していますか？



マリゼブ®錠を
服用した感想や、
気になることが
あったら、医師へ
伝えましょう。



低血糖症状に注意しましょう

低血糖の症状がみられたら

低血糖（血液中のブドウ糖の量が少なすぎる状態）が起こると、次のような症状がみられます。

軽い 低血糖の進行 重い



- 強い空腹感
- 冷や汗
- 悪心
- 手のふるえ
- 動悸 など



- めまい
- 強い疲労感
- 眠気



- けいれん
- 昏睡
- 意識消失

すぐに糖分を摂り、 安静にしてください

<糖分の例>

- 砂糖などの糖を含むジュース、清涼飲料水
- 果物
- 菓子類 など



砂糖 (10~20g)

※ α -グルコシダーゼ阻害薬という糖を吸収されにくくするお薬（ベイスン®、セイブル®など）を服用している場合には、ブドウ糖を摂ってください。

低血糖の症状が重いときは

- 意識障害などの重い症状がある
- 糖分を摂取して、一度回復しても意識障害が再びあらわれる

すぐに医療機関へ 連絡してください

他の病気にかかったら

糖尿病以外の他の病気にかかり、

- 発熱、下痢、嘔吐などがみられるとき
- 食事が十分摂れないとき

必ず主治医に ご相談ください

- 十分に水分補給しましょう
- 自己判断で服薬を中止しないようにしましょう

糖尿病治療は**食事療法**・**運動療法**・**薬物療法**が基本です

くわしくは

医療機関名

マリゼブ服薬Webサイト

マリゼブの特徴や服薬の注意点などについてご紹介しています。

<https://www.kissei.co.jp/mzks>

